



MAEZAKI



特集

巨大地震から生き延びるための個人の備え

いつか必ず揺れる



私たちの住む東海地方では、周期的に大規模な地震が発生しています。

政府の特別機関として設置された地震調査研究推進本部は、駿河湾から九州東方沖まで約700km続く南海トラフのひずみにより、マグニチュード(M)8からM9クラスの巨大地震が発生する可能性がある指摘しています。その確率は30年以内に70%から80%、南海トラフはプレート型巨大地震の巣とも言われており、南海や東南海、東海の巨大地震とそれに伴う津波被害が想定され、それぞれの地震が連動する可能性もあると発表しています。

いつ発生してもおかしくない、いつか必ず揺れる。今月号では、いざという時に備え、個人や家庭でできる対策を振り返ります。

